

主要な施策	具体的な取組目標	事業主体	平成25年度計画(Plan)		予定年度			平成25年度実績(Do)	目標指標	平成25年度の課題又は改善点(Check)
			事業内容		25	26	27			
木津川と木津川に流入する支川の水質改善を目指して	市内河川のBODの目標値を、木津川本流の環境基準A類型と同等の一律2mg	市	市内20河川及び赤田川水底質調査の実施	○	○	○	市内20河川及び赤田川水底質調査の実施 検査結果 年2回調査達成状況 2箇所(10%) 赤田川(未達成)	BOD2mg/1以下0箇所	①11月調査 11/13・14(60%達成) ②3月調査 3/18・19(10%達成)	
	キッチンの排水口に天ぷら油や残飯・調理くずなどを流されないように、さらにごみ分別を徹底	市民等	合併浄化槽設置補助普及に向けた広報周知 くるっとによる「ぎゅっとひと絞り」運動の展開	○	○	○	広報周知5回/年 「ぎゅっとひと絞り」運動 2回		広報やHP等で市民の方への啓発活動に取り組む イベント会場における「ぎゅっとひとしぼり運動」コーナーを設置、啓発を行う。	
	下水道への早期接続やし尿汲取り・単独浄化槽の合併浄化槽への切り替えを進め、適正な維持管理により生活排水による水質汚濁を抑制	市民等	合併浄化槽設置補助普及に向けた広報周知、浄化槽維持管理法定検査未受検又は不適正結果設置者に対する指導通知	○	○	○	広報周知5回/年 指導通知(随時)		広報やHP等で市民の方への啓発活動に取り組む	
	下水道への早期接続、合併浄化槽化に対する支援・普及啓発の促進	市	合併浄化槽設置補助事業の実施	○	○	○	設置者29名に対し、12,920千円の補助を実施した。 5人槽10基、7人槽18基、10人槽1基		合併浄化槽特定地域における重点的な啓発活動(回覧など)に取り組む	
魚やホタルをはじめとする多様な動植物が生きる豊かな環境を目指して	景観保全や自然保護活動への積極的に取り組む	市民等	生物多様性木津川市地域連携保全活動計画の策定 外来種の動植物情報をHP等で啓発	○	○	○	地元地区、活動団体、企業又は関係機関等と連携した取組みを進めるため、生物多様性木津川市地域連携保全活動計画を策定した。 市広報紙を通じて、「さとやま通信」を毎月発行し、木津北地区の里山保全に係る市・企業や活動団体の取組み事例などを紹介した。 ・鹿背山の柿を育てるネットワーク ・鹿背山倶楽部 ・鹿背山元気プロジェクト ・市こどもエコクラブサポーターの会 ・NPO法人京都発・竹・環境流域ネット		里山や河川の保全に参加していただける市民を増やすために、環境保全に取り組む各団体のアピールを積極的に行う	
	外来種の動植物を自然界にはなさない	市民等		○	○	○		市の広報やHP等で市民の方々への啓発に取り組む		
	里山保全活動に地域ぐるみや企業ぐるみで取り組む	市民等		○	○	○		企業の活動と市民の活動をつなげるようにしていく。		
	自然環境と歴史遺産が一体となった優れた地域を協働して保全します	協働		○	○	○		環境保全に取り組む団体の活動が円滑に進むように支援していく		
	自然視察や動植物観察ができる環境づくりを目指す	市		○	○	○		豊かな自然や生態系の保全、動植物とともに暮らす楽しさを伝えていく		
持続可能な循環型社会の形成を目指して	協働してごみの減量化を進めます	協働	市廃棄物減量等推進審議会の開催 ごみ減量化推進計画「もったいないプラン」の取組み推進	○	○	○	「ぎゅっとひとしぼり運動」の展開、市民参加型のフリーマーケットの実施や環境まつりなどごみ減量化に向けた取組みを行った。 環境まつりをはじめリサイクル研修ステーション環境教育4事業、くるっとによる出前講座など環境教育8事業、こどもエコクラブによる里山体験、出前講座など5事業の取組みを行った。	生活系ごみ一人当たり排出量/日 平成32年度中期目標 546g 事業系ごみ総排出量 平成32年度中期目標 2,563t	木津川市ごみ減量化推進計画(もったいないプラン)に基づき、市民、事業者、行政とが協働し、引続きごみ発生抑制・減量化について審議を行い、さらなるごみの減量及びリサイクルに取り組む。	
	生ごみ排出時の水切りをさらに徹底します	市民等	くるっとによる「ぎゅっとひと絞り」運動の展開	○	○	○		・イベント時の啓発活動(フリーマーケット、環境まつり、山城まつり) ・木の津まつりや市内で開催されるイベントに参加し啓発に努める。		
	ごみ減量化を広く啓発し、ごみ処理施設への負担軽減を目指します	市	リサイクル研修ステーションを活用した環境教育、意識啓発事業を積極的に推進する	○	○	○		リサイクル研修ステーションを情報発信の場として事業を展開する。また、EMぼかしや段ボールコンポストによる生ごみたい肥化の実証実験に取り組む。		
	各市民団体で実施している古紙集団回収事業を積極的に利用・協力し、より一層の紙ごみの削減に努めます	市民	地域に向けた周知啓発 広報、ホームページ等を活用した情報提供の充実	○	○	○		25年度の回収実績: 2,577,023kgだった。市内全域でニュータウンを中心に新たに自治会が発足した地域については、古紙回収の取り組みをしていただくように依頼していく必要がある。 また、雑紙類の回収を促すための取り組みも積極的に行っていく。		

主要な施策	具体的な取組目標	事業主体	平成25年度計画(Plan)			平成25年度実績(Do)	目標指標	平成25年度の課題又は改善点(Check)		
			事業内容						25	26
公害のない快適な生活環境を目指して	まちの見張り番として、ごみの不法投棄、ごみの野焼き、ペットのフン放置などが行われないように自主的なパトロール活動や監視などと共に、モラルやマナー向上に努めます。	市民等	空地の除草に関する条例による指導をはじめ環境美化活動を推進するため、アダプトプログラム、公園管理の里親制度などの周知、PRをはじめ地域活動に対する側面的支援を行う。	○	○	○	不法投棄回収件数 平成32年度5件以内	平成25年度の不法投棄定期パトロールの実績(50回)は、箇所数が平成25年度:136件、回収量が2,680kgであった。市民からのごみの不法投棄等に関する情報の活用、アダプトプログラムの推進、市民への啓発、地域活動の支援などを行っていく。		
	ごみの不法投棄やごみの野焼きがないよう土地の維持管理に努めます	市民等		○	○	○			野焼き行為禁止に対するPR広報掲載、行為者に対してはチラシを使用した野焼き禁止行為の説明と焼却以外で廃棄物を処分する方法の説明。野焼き行為の苦情申立者と通報者については野焼き禁止の例外規定の説明と行政指導の対象行為と対象外行為の説明。	
	不法投棄の未然防止やペットのふん放置の防止をめざし、モラルやマナー向上のための意識啓発を強化する	市		○	○	○				不法投棄やふん放置に関する啓発看板等の配布など、モラルやマナー向上、意識啓発を推進していく。
	市内を循環する定期的な不法投棄パトロールを行う	市		○	○	○			市内の不法投棄定期パトロールの委託を行う。加えて、悪質な不法投棄においては京都府警察と、産業廃棄物が不法投棄されている場合は京都府山城南保健所と協力するなど、関係機関との密接に連携し、不法投棄に対処していく。	
地球温暖化防止対策の推進をめざして	敷地内の植樹やグリーンカーペット(芝等)を植え、また窓辺へのグリーンカーテンの設置などによって、積極的に木陰づくりや緑化の向上に努める	市民等	地球温暖化防止を進めるため、地元府立木津高校と連携したゴーヤ苗を活用し、公共施設のグリーンカーテン化に努める。また、夏の節電対策取組事例などについて、広報ホームページ等を活用して周知啓発を図っていく。	○	○	○	公共施設のグリーンカーテン化 15市内公共施設、7小学校、2中学、16幼稚園・保育園外 1,120株の配布 広報ホームページ等を活用して周知啓発	グリーンカーテンの成長記録の写真や、気温の変化等をホームページに掲載し、グリーンカーテン終了後には広報で結果報告をする。目に見える形で活動を紹介することにより、市民の方自ら意識をしてもらうようにする。		
	雨水などを利用し、打ち水に取り組む	市民等		○	○	○			雨水タンク購入補助制度の啓発を進め、雨水の有効活用、打ち水の効果の啓発をしていく。	
	職員が常駐するすべての公共施設にグリーンカーテン設置を進める。	市		○	○	○			平成32年設置率100%	保育園や幼稚園、学校関係の施設への普及を目指し、環境教育と結び付ける。
	計画的に公共施設への屋上緑化や壁面緑化などの導入を進め、道路には街路樹やグリーンカーペットなどにより、木陰づくりや緑化率の向上に努めます	市		○	○	○			屋上緑化や壁面緑化等、グリーンカーテンよりも馴染みがないものを、市の機関が率先して取り入れて、推奨できるような体制づくりや計画を進めていく。	
再生可能エネルギー利用の促進のため	自然エネルギーなどの学習会や開催イベント等へ積極的に参加し、温室効果ガス排出の削減となる日々の活動に取り組む	市民等	公共施設、教育施設において省エネルギー対策に向けた設備導入を図るとともに、市が行う事務事業を対象として目標値を設定し、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。また、広報ホームページ等を活用し、関連するイベント開催や講演会、催しなど市民に広く情報提供を進める。	○	○	○	城山台小学校太陽光パネル設置 ・・・10kw 木津中学校太陽光パネル設置 ・・・10kw 平成25年度温室効果ガス削減 5,180t	省エネ診断や、イベントへの参加等、自身で出来ることから実施し、現在の状況を確認し、活動に励む。		
	一人一人が力を合わせて行う継続的な省エネルギー活動にさらに取り組む	協働		○	○	○			引き続き、継続的な省エネルギー活動に取り組みを啓発していく。	
	設置可能な自然エネルギー設備の導入を進める	協働		○	○	○			市が主体となり、市民協働で自然エネルギー設備の導入を進める。	
	事務事業を対象に温暖化効果ガス排出量の削減に取り組む	市		○	○	○			平成27年度 5,455t	昨年度に引き続き、市が行う事務事業を対象に、節電や温室効果ガスの削減に努める。
	市民が行う自然エネルギー設備の導入が促進されるよう普及支援等に取り組む。また、市民や事業者に対して、温室効果ガス排出の削減を強く呼びかけます	市		○	○	○			市民や事業者に対して、温室効果ガスの削減を呼び掛けると同時に、具体的な案を提示し、積極的に取り組んでもらえるようにする。広報やホームページで呼びかける。	

主要な施策	具体的な取組目標	事業主体	平成25年度計画(Plan)			平成25年度実績(Do)	目標指標	平成25年度の課題又は改善点(Check)	
			事業内容						25
環境教育の推進をめざして	連携協働によりリサイクル研修ステーションの施設利用者の増加を目指します	協働	地球環境保全、ごみ減量化、環境保全のための研修、実践事業又は啓発事業に取り組む。	○	○	○	平成25年度来館者数 13,573人	平成23年度(9,600人)対比毎年200人増	リサイクルコーナー活用やさき織体験など、施設の更なる啓発を行う。見やすい展示スペースづくりに努める。
	環境や3Rに関する学習会や開催イベント等へ積極的に参加し、自主的な日々の環境活動にも取り組みます	市民等		○	○	○	リサ研事業(木工教室、エコクッキング教室、エコバッグ教室、ふろしき講習会等)82人、くるっと事業(古布ぞうり講習会、エコ手芸教室、エコ洋裁教室、しめ縄づくり講習会、落ち葉で堆肥づくり、エコ親子工作教室)339人、こどもエコクラブ事業(5事業)599人、環境まつり350人、フリーマーケット800人		イベント会場における「ぎゅっとひとしぼり運動」「ごみ分別体験」コーナーを設置、啓発を行った。イベント会場等において、市民が参加・体験できる場を増やしていく。
	関係団体が自主的に連携・情報交流を図れる体制づくりを支援します	市		○	○	○			横のつながりを大事にし活動団体の情報を収集を行い、より情報交流が図れるよう支援をしていく。
	市民への効果的な情報発信や人材育成を図るとともに、市民や事業者からの環境に関する情報提供の機能も併せ持つ情報基盤づくりをめざします	市		○	○	○			最新のデータを収集し、発信の場として情報提供を行っていく。環境に興味を持ってもらうよう講座や教室を開催し、人材育成を図っていく。今後新たに、EMぼかしや段ボールコンポストによる生ごみたい肥化の啓発をしていく。
環境美化・環境保全活動の推進を目指して	積極的に継続した清掃美化ボランティア活動に取り組む	市民等	環境美化活動を推進するため、アダプトプログラム、公園管理の里親制度などの周知、PRをはじめ地域活動に対する側面的支援を行う。	○	○	○			
	市民や事業者が行う自主的な清掃美化ボランティア活動を支援するとともに、普及啓発を進めます	市		○	○	○			清掃等に係る備品の提供などを積極的に行った。支援については継続していく。広報での記事掲載が少なかったため、来年以降広報を利用した普及啓発を積極的に行う。
	様々な世代間交流や日常生活の中で継続できる身近な美化活動として、アダプト・プログラム制度へ登録し、活動の推進と参加者の増加をめざします	協働		○	○	○	平成25年度登録状況 48団体、2,019人	平成23年度(1,180人)対比毎年50人増	H25年度は前年度に比べ2団体86人の増加となった。事業所の加入が大きい要因だった。
	森林や里山などの保全を目的とした環境保全がボランティア活動に参加する	市民等		○	○	○	市広報紙で「さとやま通信」を毎月発行し、里山保全活動を行う団体の取組み事例などを紹介した。		来年度も引き続き「さとやま通信」を発行し、継続した情報発信を行っていく。